

第3節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉担当、こども担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当で編成されている。

福祉担当では、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員に関する事務、日本赤十字社に関する事務、生活保護や低所得者層の援護を行った。また、障がい者支援として、身体・知的・精神障がい者手帳の交付、自立支援医療・育成医療受給者証の交付、障がい福祉サービスや福祉タクシー料金助成に関する事務等を行い、豊かな社会生活を営むことができるよう努めた。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、老人クラブ育成支援、西方ふれあいプラザ及びさくらホームに関する業務等を実施した。また、高齢者福祉関係として、配食サービス事業、緊急ホームヘルパー派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給事業、紙おむつ購入費助成事業などの介護予防事業や生活支援事業、戦没者遺族の援護を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため介護予防事業、介護予防事業の担い手となるボランティアの育成、包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当では、ライフサイクルに応じた健康づくり支援として、各種健康診査、健康教育、相談、訪問事業等を実施した。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としたのびのび相談、各種予防接種事業等を実施した。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。また、各種がん検診、肝炎ウイルス、骨粗しょう症及び歯周疾患検診を実施した。がん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診勧奨を図った。健康づくり事業では、生活習慣病予防推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員18人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
4	8	—	5	—	1
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
—	2	3	56	79	4.4

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
292	9	192	1,150	2,135	3,778	209.9

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤社資

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
701,000	653,100	93.2

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1世帯	1人	1枚	1組	1個

(3) 災害見舞金給付状況

(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
1	—	—	—	—

3 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区分		実施状況(人)
交付者数		107
	うち高齢者(80歳以上)	78
	高齢者(65～79歳)	4
	障がい者	15
	腎臓機能障がい者	10

4 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況)

(単位：人)

障がい区分	手帳所持者数	平成25年度中交付者数
視覚障がい	11	3

聴覚・平衡障がい	28	1
音声・言語・そしゃく障がい	2	—
肢体不自由障がい	117	7
内 部 障 が い	73	6
複 合 障 が い	13	2
合 計	244	19

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）（単位：人）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	3	2	9	4	18
中度（ B 1 ）	1	1	6	5	13
軽度（ B 2 ）	—	2	5	—	7
合 計	4	5	20	9	38

6 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	4	15.4
2 級	18	69.2
3 級	4	15.4
合 計	26	100

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、44人が受給した。

7 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理（単位：件）

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義 肢	義 手	—	—	—	—	—	—
	義 足	—	—	—	—	—	—
装 具	下 肢	2	—	2	—	—	—
	靴 型	2	—	2	—	—	—
	体 幹	—	—	—	—	—	—
	上 肢	—	—	—	—	—	—

座 位 保 持 装 置	1	—	1	1	—	1
盲 人 安 全 つ え	—	—	—	—	—	—
義 眼	—	—	—	—	—	—
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	—	—	—	—	—
	遮 光 眼 鏡	—	—	—	—	—
	弱 視 眼 鏡	—	—	—	—	—
補 聴 器	高 度 難 聴 用 ポ ケ ッ ト 型	—	—	—	—	—
	高 度 難 聴 用 耳 掛 け 型	2	—	2	—	—
	重 度 難 聴 用 ポ ケ ッ ト 型	—	—	—	—	—
	重 度 難 聴 用 耳 掛 け 型	—	1	1	1	—
車 い す	普 通 型	1	—	1	—	2
	そ の 他	—	1	1	—	—
電 動 車 い す	—	—	—	—	—	—
起 立 保 持 具	—	—	—	—	—	—
座 位 保 持 い す	—	—	—	—	—	—
歩 行 器	—	—	—	—	—	—
歩 行 補 助 つ え	—	—	—	—	—	—
重 度 障 が い 者 用 意 思 伝 達 装 置	—	—	—	—	—	—
特 例 補 装 具	—	—	—	—	—	—
合 計	8	2	10	2	2	4

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	—	—
特 殊 マ ッ ト	—	—
特 殊 尿 器	—	—
移 動 用 リ フ ト	—	—
訓 練 い す	—	—
入 浴 補 助 用 具	1	2
体 位 変 換 器	—	—
便 器	—	—
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	—	—
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	—	—
頭 部 保 護 帽	—	—
特 殊 便 器	—	—

火 災 警 報 器	—	—
自 動 消 火 器	—	—
聴覚障がい者用屋内信号装置	—	—
透 析 液 加 温 器	—	—
ネ ブ ラ イ ザ ー	—	—
電 気 式 た ん 吸 引 器	—	—
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	—	—
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	—	—
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	—	—
視覚障がい者用拡大読書器	—	—
盲 人 用 時 計	—	—
盲 人 用 体 温 計	—	—
盲 人 用 体 重 計	—	—
点 字 デ ィ ス プ レ イ	—	—
聴覚障がい者用通信装置	—	—
聴覚障がい者用情報受信装置	—	—
人 工 喉 頭	—	—
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	—	—
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	—	—
点 字 図 書	—	—
ス ト マ 用 装 具	13	—
紙 お む つ	2	2
収 尿 器	—	—
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	—	—
合 計	16	4

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種 別	給付決定者数(件)
視 覚 障 が い	—
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	—
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	—
免 疫 機 能 障 が い	—
肢 体 不 自 由	1
心 臓 機 能 障 が い	2

腎臓機能障がい	22
合計	25

9 身体障がい児の自立支援医療（育成医療）給付決定の状況

種別	給付決定者数(件)
視覚障がい	—
聴覚・平衡機能障がい	—
音声・言語・そしゃく機能障がい	1
免疫機能障がい	—
肢体不自由	2
心臓機能障がい	—
腎臓機能障がい	—
小腸機能障がい	1
合計	4

10 各種手当の状況

種別	給付決定者数(件)	
特定疾患介護手当	6	
重度心身障がい児扶養手当	—	
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	—
	福祉手当（経過的）	—
特別児童扶養手当	1	

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、西方地域2か所の小学校区内において実施した。

・学童保育入所者数

(単位:人)

学年	1 学年			2 学年			3 学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学童保育名												
西方児童クラブ（西方小）	3	5	8	5	4	9	7	9	16	15	18	33
真名子児童クラブ（真名子小）	1	—	1	3	—	3	4	—	4	8	—	8

計	4	5	9	8	4	12	11	9	20	23	18	41
---	---	---	---	---	---	----	----	---	----	----	----	----

2 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給した。

- ・児童手当受付件数 51件

3 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、第二子以降のお子さんが誕生した家庭に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	14
	第三子以降 20,000円	11

4 児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種別	受付件数(件)
児童扶養手当	1

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（4月1日現在）

区分	年度		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総人口(人)	6,684	6,618	6,586
65歳以上人口(人)	1,696	1,715	1,773
総人口に対する割合(%)	25.37%	25.91%	26.92%

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様（5～6月調査結果）

（年齢基準日：4月1日現在）

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		1,773	100
内	独居	144	8.1

訳	高齢者世帯※ (世帯数)	313 (153)	17.7
	その他	1,316	74.2

※65歳以上のみで構成された世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日（基準日）において本市に引き続き1年以上在住し、該当年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日にあわせ老祝金を贈呈した。本庁一括予算で実施し、95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額（円）	対象人数（人）
85歳	10,000	50
90歳	20,000	33
95歳	30,000	9
100歳	100,000	3
101歳以上	50,000	3

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 37自治会、1高齢者施設
- ・補助額 671,000円

4 老人クラブ育成支援

老人クラブ連合会西方支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導支援を行った。

- ・単位老人クラブ数（西方地域） 8クラブ
- ・西方町老人クラブ連合会会員数 221人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 本庁高齢福祉課で支払
老人クラブ連合会西方支部助成 本庁高齢福祉課で支払

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会西方支部主催（事務局：栃木市社会福祉協議会西方支所）で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

事業名	実施日	参加人数(人)	会場
グランドゴルフ・ペタンク大会	5月21日(火)	57	さくらグラウンド

輪投げ大会	6月29日(土)	96	西方小学校体育館
	10月19日(土)	98	西方小学校体育館
はればれ交流会	10月26日(土)	132	西方総合文化体育館

6 はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 西方地域内に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会所・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 3センター（5自治会）
- ・委託料 880,000円
- ・実施回数 延べ245回
- ・参加人数 延べ3,044人

7 高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（1食300円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認をすることを目的に実施した。

- ・宅配個数 2,336個
- ・世帯数 19世帯(21人)
- ・委託先 栃木市社会福祉協議会 今泉町2-1-40
ワタミタクシヨク(株) 仲方町306-5

8 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 27人
- ・訪問世帯数 213世帯

9 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品目	件数
老人福祉車	17

小型暖房器具	10
電磁調理器	—
火災警報器	—
自動消火器	—

10 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成。

・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品目	件数
電動小型吸引器	—
特殊寝台	—
じょく瘡予防用具	1

11 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成25年度設置台数	平成25年度撤去台数	計
7	1	1	7

12 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
90	84	174

13 紙おむつ購入費助成事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
67	68	135

14 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目

的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 4人
- ・延べ回数 100回 (100時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者 2人
- ・延べ利用時間数 (単位：時間)

家事	—
除草	45
植木手入れ	—
大工	—

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者 なし

15 西方ふれあいプラザ

西方ふれあいプラザの運営管理業務を、栃木市社会福祉協議会(西方支所)に委託(指定管理)して実施した。

(1) 利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
西方ふれあいプラザ利用者	3,151	2,638	2,363

- ・開館日数 287日
- ・1日平均利用者 8.2人
- ・内 容 趣味活動(手工芸等)、レクリエーション、入浴、足湯
カラオケなど

16 西方さくらホーム

高齢者が、自主的に社会奉仕活動や生きがい活動、健康づくり活動等を行うことを目的に事業を実施した。

(1) 利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
西方さくらホーム利用者	850	726	669

- ・開催日数 125日
- ・1日平均利用者 5.4人
- ・内 容 手工芸教室、介護予防教室、除草
野外活動等

17 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数 (件)
要介護 (要支援) 認定申請 相談・受付・入力	284
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	15
介護給付費過誤申立 受付・入力 (過年度分のみ)	—
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	1
転入・転出・転居 資格管理等	1
転送希望届申請 受付・入力	7
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	79
短期入所の 30 日を超える連続利用申請 受付・決定発行	1
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	1
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	5
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	22
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	11
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	24
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	54
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	4
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	3

18 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

(単位：件)

区分	件数	実件数	延べ件数
面 接		195	219
電話相談			232
家庭訪問		20	25
連絡調整			232

19 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

西方地域包括支援センター 西方町本城 1 番地 西方保健センター2 階

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者の把握を行った。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた人を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

チェックリストによる対象者数 219人

(イ) 通所型介護予防事業

運動器機能向上の必要性がある二次予防事業対象者に対して、ゆうゆうヘルシー教室、運動教室、いきいきリハビリ教室を実施し、要介護状態等になることの予防及び、自立した生活を送るための支援を行った。

運動教室では、健康運動指導士が個別の運動プログラムを作成し、そのプログラムに沿って教室時や自宅での運動を対象者に3か月間実践してもらった。運動教室終了後には、月2回4か月間フォローアップ編を開催し、自宅でも運動することの大切さを意識してもらうよう支援した。

いきいきリハビリ教室では、年3回理学療法士が、個別の運動プログラムを作成し、教室時にプログラムに沿って運動を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
ゆうゆうヘルシー教室 (複合型介護予防事業)	10	90
運動教室	12	92
運動教室 フォローアップ編	8	54
いきいきリハビリ教室	49	454
合計	79	690

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発のため、「元気アップ教室」を全5か所で開催した。各箇所月1～3回の頻度で、保健師による運動の実践や指導、栄養士による栄養の講話や調理実習を行った。また、老人会の集会に合わせて、保健師が出向き、介護予防のための運動や講話を実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	82	885
栄養改善	10	115
合計	92	1,000

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a ますます元気サポーター養成講座と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、都賀・西方合同で地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報収集や交流ができる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

ますます元気サポーター養成講座修了後は、都賀・西方各地域教室のサポーターとして、血圧測定や運動補助、参加者の見守り等を実施してもらった。

・実施状況（都賀・西方地域包括支援センター合同で開催）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター養成講座	5	96
ますます元気サポータースキルアップ講座	5	44
ますます元気サポーター視察研修	1	11
ますます元気サポーター打合せ	3	15
合 計	14	166

・実施状況（西方地域）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター活動状況	53	94

b 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座では、老人保健施設にしかたと協賛し、西方病院や老人保健施設にしかた、特別養護老人ホーム雅の風職員向けに養成講座を2回に分けて開催した。

- ・会 場 西方病院
- ・実施日 9月4日（水）、11月8日（金）
- ・講 師 認知症の人と家族の会栃木支部代表 金澤林子氏
- ・参加人数 117人

c 出前講座

地域の団体を対象に、介護予防の普及啓発や健康相談等を実施した。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 25人

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、要支援状態等となった場合においては、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・実施状況

開催回数(回)		件数(件)
二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況		21
要支援者の介護予防	地域包括支援センター作成	12

サービス計画作成状況	事業所委託	19
	合計	31
サービス担当者会議実施状況		30
住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況		3

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面接	125
電話相談	421
家庭訪問	395
合計	941

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係機関と連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を随時行っているが、平成25年度は高齢者虐待の相談等はなかった。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	2
高齢者虐待に関すること	—

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における他職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

(4) 任意事業

ア 地域自立支援事業(24時間通報体制)

地域包括支援センターへの相談等に随時対応するため、夜間等電話相談業務を老人保健施設にしかたに委託し実施した。

・実施状況

	相談日実数(日)	相談件数(件)	緊急対応(再掲)
休日(土日・祝日)	5	5	1
平日夜間	3	3	—
合計	8	8	1

健康増進担当

1 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・母子健康手帳交付数 31人（妊娠届出30人、双胎一人、紛失等一人、海外から転入1人）

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がい相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	36	37	102.8	4	4	1	—
乳児健康診査 (9か月児)	12	32	30	93.8	4	3	1	—
1歳6か月児 健康診査	3	36	37	102.8	13	—	—	1
3歳児 健康診査	3	46	45	97.8	14	1	1	3

エ 2歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科医師により講話を行った。また、保健師による育児指導、栄養士による栄養指導を実施した。

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
3	30	29	96.7

オ 乳幼児発達相談（二次健診）【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた児に対し、栃木会場において、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

3～4 か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を行うため、受診券を交付した。

(3) 健康教育

ア 両親（母親）教室 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり、乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ すくすく教室（子育て支援教室）

2～3 か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 26組

ウ 健診事後教室（ちゃいちゃいぐる一ふ・ぺんぎんぐる一ふ）

【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、栃木会場にて集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

小児生活習慣病を理解し、生活習慣を振り返り、健康への関心を高めるために小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に授業協力を行った。

会 場	実施回数(回)	参加人数(人)
西方中学校	1 (1校)	生徒 62
西方小学校	1 (1校)	生徒 51

オ だっこだっこ絵本事業

親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回（9か月児健診開催時）
- ・参加者延べ数 30組

カ よい歯のコンクール【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯と口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は県の2次審査に推薦した。

キ 食育事業

(ア) 親子クッキング教室

小学生以下の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 6組 14名

(イ) クッキング体験

食への関心を高め野菜嫌いをなくすことを目的に、なかよしこども園の年中児に対し、講話と調理を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加人数 91人

(ウ) のみもの教室

小学1年生に対し、飲み物の糖分とカロリー等から、食と健康について考える機会を提供した。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 37人

(エ) 箸名人

なかよしこども園3～5歳児に対し、正しい箸の持ち方の実践を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 118人

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談業務を行った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 44組

イ 5歳児発達相談

3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、適切な療育の提供や保護者への支援を行った。市内なかよしこども園において発達相談を実施した。

(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
33	23	—	2	—	6	2

ウ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 38件

エ のびのび相談室

発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導及び育児支援を行った。

- ・実施回数 3回
- ・相談者数 15人

2 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査、健診結果説明会及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

- ・実施回数 4回
- ・実施場所 西方保健センター

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 7回
- ・参加者数 101人

(3) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	14	8	57.1
動機付け支援	22	14	63.6
合計	36	22	61.1

3 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 4回
- ・受診者数 596人
- ・集団健診実施会場 西方保健センター

4 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内 容
おなかすっきり運動教室	4	20	運動指導士による運動講話及び実践
男性のための料理教室	1	8	栄養士による講話及び調理実習

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 5回
- ・延べ相談者数 5人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

5 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、普及啓発用リーフレットを窓口及び各種事業時において配布し、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

6 予防接種事業 【数値は本庁健康増進課で一括計上】

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い、予防接種協力医療機関での個別接種を勧奨した。

BCG、4種混合（ポリオ・百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

- ・子宮頸がん予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。
- ・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

7 地域保健対策事業

(1) 健康まつり事業

「ど田舎にしかた祭り」が開催された際に、市民の健康増進のため、健康チェックコーナー等を設けた。

- ・実施日 12月1日（日）
- ・場 所 道の駅にしかた
- ・実施内容 骨密度測定 94人
血管年齢測定 130人

(2) 食生活改善地区組織事業（会員数42人）

ア 自主活動

減塩指導やバランス食等についての講話及び調理実習を行った。

- ・実施回数 4回

- ・参加延べ人数 54人

イ 減塩啓発事業

健康診査時に試食提供を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 367人

ウ 親子の食育教室

- ・実施回数 1回
- ・参加延べ人数 19人

エ 米消費拡大推進事業協力

- ・「ど田舎にしかた祭り」にて、にら入りおにぎりを配布（367個）

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 51世帯
- ・保健師訪問指導 99人（延べ人数）

精神保健	16	妊産婦	26	幼児	20	生活習慣病	3
新生児	6	低体重児	6	他の疾患	—	その他	—
心身障がい	—	乳児	21				

8 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	9	2	6	—	8	1